

**！！今年度もご注意ください！！**

## 車輪脱落事故防止についてのお願い

依然として、大型車の車輪脱落事故が増加しています。

2023年度の大型自動車（車両総重量8トン以上のトラック又は乗車定員30人以上のバス）の車輪脱落事故の発生件数は142件（うち人身事故は2件で、1件は死亡を伴う事故）で、前年度に比べ2件増加しています。特に11月から2月に87件（全体の約61%）発生しており、大型自動車の車輪脱落事故は冬期に発生する傾向にあります。又、車輪脱着後1か月以内での事故発生が77件（全体の約54%）を占めています。

原因としまして、タイヤ脱着作業時のワッシャ付きホイール・ナットの点検、清掃や各部位への潤滑剤の塗布、さらにはホイール・ナットが円滑に回るかの確認が不十分である等、適切なタイヤ脱着作業やタイヤ脱着作業後の増し締めが実施されていないなどが挙げられます。

特に、著しく錆びたホイール・ボルト、ホイール・ナット、ディスク・ホイールでは適正な締付け力が得られないため、タイヤ脱着作業時に点検・清掃や潤滑剤の塗布を行っても錆が著しいディスク・ホイールやひっかかり等の異状がありスムーズに回らないホイール・ボルト、ホイール・ナットは交換が必要です。

車輪の脱落は、人命に係る重大な事故を引き起こすおそれがあります。

つきましては、車載の「取扱説明書」や日本自動車工業会発行のチラシ「お・と・さ・な・い」、弊社ホームページ掲載の「トレーラのホイール・ナット締付け要領について」を参照していただき、下記の5点を徹底し事故の無いように運行をお願い致します。

1. ホイール・ボルト及びホイール・ナットの錆や汚れの除去
2. ホイール・ボルト、ホイール・ナットのねじ部と、ISO方式のナットとワッシャのすき間にエンジン・オイルを塗布
3. ホイール・ナットの規定トルクでの締付け
4. タイヤ交換後、50～100km走行後の増し締め
5. 日常（運行前）点検での確認

\* 関連資料（アドレスをクリックすると各資料に移動します）

- ・国土交通省プレスリリース 2024年10月1日 冬用タイヤ交換時には確実な作業の実施をお願いします！

[https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha09\\_hh\\_000327.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha09_hh_000327.html)

- ・トレーラのホイール・ナット締付け要領について [PDF/198KB]

[https://www.shinmaywa.co.jp/toho/support/dl/check\\_20150710.pdf](https://www.shinmaywa.co.jp/toho/support/dl/check_20150710.pdf)

以上